

交通の世紀—高齢者の足確保・ドライバー不足対策の可能性を探る—

# 自動運転車と公共交通サービス—技術開発の進展と実用化への展望

～自動運転時代の交通まちづくり—「救世主・自動運転車」の導入・活用の可能性と方策・課題～

- 新しい交通社会の展開—技術開発のレベルと交通システム、社会的影響、先行技術
- 自動運転技術の開発動向と自動運転バス実用化への技術要件と展望
- 危機的状況の公共交通（バス・タクシー）—自動運転システムへの期待と可能性・課題
- 法的諸問題—自動化レベルと様態、事故・責任、保険の範囲、情報セキュリティ対応

>>> 講師陣

**太田 勝敏** 氏／東京大学名誉教授、(一社)日本国際学生技術研修協会理事長、(公財)豊田都市交通研究所所長  
**青木 啓二** 氏／先進モビリティ(株) 代表取締役  
**鈴木 文彦** 氏／交通ジャーナリスト  
**今井 猛嘉** 氏／法政大学大学院法科研究科教授

>>> 日時・会場

2016年12月21日(水) 10:30～18:00

日本教育会館・会議室(東京・千代田区)

時	講 義 内 容	
10:30 ～ 12:10	<b>自動運転時代の交通とまちづくり</b> 1. はじめに: 交通まちづくりの視点から 2. 自動運転車AVは「考えるクルマ」AUTO SAPIENS 3. 自動運転技術とその特性 電動、自動化、IoT(V2X,つながる)、共用(シェア) 4. 新しい交通社会の展開 ①技術開発のレベルと交通システム,社会的影響      ②先行技術—安全支援、UBERなど案内アプリ ③新しい考え方:MaaS- Mobility as a Service 5. 交通の世紀: 明日に向けて	東京大学名誉教授 太田 勝敏 氏          【質疑応答】
13:10 ～ 14:40	<b>自動運転技術の開発現状と自動運転バス実用化の技術的展望</b> 1. 現在までに開発されたバス・トラックの自動運転システムの振り返り 2. 自動運転実用化を目指して開発が行われているセンサ技術、制御技術 3. 自動運転実用化に求められる技術要件 4. 自動運転の実現性の展望	先進モビリティ(株) 代表取締役 青木 啓二 氏      【青木啓二氏プロフィール】 1971年トヨタ自動車入社,東富士研究所でエンジン電子制御システム開発に従事後、自動運転車の研究開発を担当。1998年からI・T・I・S企画部で自動運転バス「トヨタIMTS」の開発を担当し、2004年「愛・地球博」用の実用化開発に従事。2008年日本自動車研究所に出向し、NEDOの自動運転・隊列走行技術の開発を担当。2014年先進モビリティ(株)代表取締役に就任。
15:00 ～ 16:30	<b>「自動運転」は公共交通の救世主となるか</b> ～バス・タクシーのドライバー確保と交通サービスから考える～ 1. 自動運転技術の進化と高まる前評判      2. 技術的な到達と普及は異なる 3. 自動運転と無人運転も異なる      4. 自動運転と「人」 5. 成功体験蓄積の必要性とバス事業・ドライバー不足への貢献	交通ジャーナリスト 鈴木 文彦 氏      【質疑応答】
16:40 ～ 18:00	<b>自動車の自動化運転と法的諸問題</b> 1. 自動化運転の許容性 (1) 道路交通法の下での理解      (2) 関連する条約と条約改正の流れ (3) 自動化運転レベルと許容される態様      (4) 自動化運転実験のための例外的免許付与 2. 自動化運転による事故と責任 (1) 交通事故における民事・行政・刑事責任      (2) 製造物責任法と自動化運転システム (3) 保険の適用範囲の拡充 3. 自動化運転と情報セキュリティ	法政大学大学院法科研究科教授 今井 猛嘉 氏          【質疑応答】

【研修会の参加要領】

■日時：2016年12月21日(水) 10:30～18:00  
 ■会場：日本教育会館・会議室  
 東京都千代田区一ツ橋2-6-2(案内図は申込後送付)  
 ■申込方法：裏面下部の申込書に所要事項を記入の上送付下さい  
 (FAX・郵送・メール等)。

\*参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席をお願い致します。

■参加費(1名分)

	当日参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	28,000円
一般	35,000円	38,000円

■支払方法

請求後の振込(銀行振込・郵便振替・現金書留・当日払い)

みずほ銀行麹町支店 普通1159880  
 三井住友銀行麹町支店 普通7411658  
 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767

郵便振替:00110-8-81660 口座名:株地域科学研究会



# バス・タクシーの 地域・住民ニーズ —中間モード・システムと新市場 ～新しい事業区分と地域公共交通の構築 ：実践・実務資料集～

【監修】鈴木 文彦(交通ジャーナリスト)  
寺田 一薫(東京海洋大学海洋工学部教授)  
A4判 202頁/06.10刊/定価 9,720円(税・送料込)  
参加者特価8,500円(税・送料込)

- 第1編 乗合事業の新制度—コミュニティバス、乗合タクシー等の現状と新スキーム**  
 第1章 コミュニティバス、乗合タクシー等の普及促進に向けた新しい制度について 国土交通省自動車交通局旅客課長/田端 浩  
 第2章 改正道路運送法関係法規集(条文、政省令、通達、ガイドライン)
- 第2編 行政・事業者・地域の役割と中間モードの先行事例**  
 第1章 バス交通再編成を中心としたバランスのとれた地域交通の実現に向けた取組み 三郷市環境経済部交通対策課/大野練夫  
 第2章 地方圏の公共交通—バスとタクシーを組み合わせた新しいサービスの創造 第一観光バス・十和田タクシー社長/中嶋日吉  
 第3章 多様な乗合旅客ニーズへの対応と自治体、交通事業者の役割 東京海洋大学/寺田一薫  
 第4章 バスとタクシーの中間モード等、多様なシステムによる生活交通の確保 交通ジャーナリスト/鈴木文彦
- 第3編 新・乗合事業と生活交通ニーズ—地域生活交通の構築に向けて**  
 [パネル討論]乗合事業の新区分と中間モードの開発  
 —地域・住民ニーズに対応した交通システム構築  
 司会:鈴木文彦/パネラー:大野練夫、中嶋日吉、寺田一薫

コミュニティ再生を担う交通ビジネスとマーケティング型経営戦略の実践研究

# 新バスシステム

～行政・市民(NPO)との連携&  
企業・地域支援の事業化方策～



【監修】鈴木 文彦  
寺田 一薫(東京海洋大学教授)  
山本 雄二郎  
■体裁：A4判/441頁/05.12刊/定価：20,520円(税・送料込)  
■参加者特価：18,000円(税・送料込)

- 第1章 新・バスシステム—これからの交通ビジネスを探る  
 埼玉・三郷市バス再編成/団地交通・平和交通(千葉市)  
 生活バスよっかいち(四日市市)/住吉台くるくるバス(神戸市)  
 山口市コミュニティバス
- 第2章 元気なバス事業—行政と事業者と地域の連携  
 盛岡市オムニバスタウン計画/山梨交通(ICカード他)  
 函館バス(100円バス)/鈴鹿市C-BUS(コミュニティバス)
- 第3章 元気なバスの近況報告  
 盛岡市オムニバスタウン計画の展開/山梨交通の新たな取組み  
 成長する鈴鹿市C-BUS(鈴鹿方式)
- 第4章 行政と市民が支える活気あるバスのシステム  
 武蔵野市ムーバス/浦安市おさんぽバス/盛岡市循環バスでんでんむし  
 杉並区すぎ丸・松ノ木路線/福井市すまいる/萩市まあーるバス  
 秋田県二ツ井町マイタウンバス

急増する 通院・買物・通学(高校)難民のための喫緊の交通サービス—  
**デマンド交通とタクシー活用**  
 —その計画策定と運行と評価—  
 ～地域公共交通網形成を担うデマンド交通システムの事例研究～

鈴木 文彦 著  
交通ジャーナリスト

◎本書を  
推薦します

太田 勝敏 東京大学名誉教授・(公財)豊田都市交通研究所所長  
 中村 文彦 横浜国立大学理事・副学長

【著者略歴】東京学芸大学大学院修士課程(地理学)修了。フリーの交通ジャーナリストとして月刊誌「鉄道ジャーナル」等交通専門誌に記事・論文多数。特定非営利法人日本バス文化保存振興委員会副理事長。国土交通省「今後のバスサービス活性化方策検討小委員会(2006年度)」「バス産業勉強会(2008年度)」、地域公共交通活性化・再生法定協議会(山口市、東京・檜原村 他多数)、地域公共交通会議(新宿区、八王子市、小平市他多数)等多くの国・自治体の委員会・会議に参画。

■体裁：B5判/160頁  
 ■発行：2013年3月15日  
 ■定価：5,119円(税・送料込)(本体:4,740円)  
 ■参加者特価：4,700円(税・送料込)

【本書の特徴】  
 ◎全国で地域生活交通の検討に携わる著者が紐解くデマンド交通40年の歴史と約200の事例の評価(図表・写真・資料等を収録)  
 ◎ブームの危険性と計画者、事業者に求められる考え方  
 ◎究極のデマンド交通としてのタクシーの活用戦略

- 第1章 デマンド交通の特性と導入事例増加の背景  
 1. デマンド交通～その歩みと特性～  
 2. 地域公共交通の維持・活性化の視点から見るデマンド交通とその位置づけ  
 3. デマンド交通導入事例増加の背景
- 第2章 デマンド交通「ブーム」の落とし穴と  
 1. デマンド交通の落とし穴 デマンド交通の特性・適性  
 2. デマンド交通の特性・適正と課題  
 ～本当にデマンド交通が必要とされているのか～

- 第3章 デマンド交通とネットワーク構築、事業採算と事業者参画  
 1. 交通ネットワーク構築上の役割～デマンド交通と路線バス、タクシー、STSとの機能分担  
 2. デマンド交通の事業採算のあり方と運行事業者の参画
- 第4章 タクシー活用戦略とデマンド交通の近未来  
 1. どんなロケーションにどのようなデマンド交通が効果的なのか  
 2. タクシーは究極のデマンド交通～一般タクシーを活用した生活交通確保への挑戦～  
 3. 超高齢化・人口減少社会におけるデマンド交通の近未来像
- 第5章 [Q&A] 講師と参加者によるネクストステージへの模索

【申込書 2016年 月 日】 希望欄に印を入れて下さい FAX: 03(3234)4993 MAIL: machi@chiikikagaku-k.co.jp

■研修会の参加 『自動運転車と公共交通サービス』： 当日参加  メディア参加  
 ■出版物の購入  『バス・タクシーの地域・住民ニーズ』 \_\_\_\_\_ 冊  『新バスシステム』 \_\_\_\_\_ 冊  
 『デマンド交通とタクシー活用』 \_\_\_\_\_ 冊

勤務先 \_\_\_\_\_ 所在地 〒 \_\_\_\_\_ 連絡担当者 \_\_\_\_\_  
 TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

参加者氏名 \_\_\_\_\_ 所属部課役職名 \_\_\_\_\_  
 (通信欄) ○をつけてください  
 ・支払方法(銀行振込・郵便振替・当日払い・現金書留)  
 ・必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)  
 (請求書宛名等)

※ご記入いただいた個人情報は当会の活動(セミナー・出版物等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。